

地域活性化伝道師プロフィール		分野		地域産業・イノベーション・農工商連携	農・林・水産業
				<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
				<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
				<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>
				<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
ふりがな		しむら しょういち			
氏名		志村 尚一			
所属	名称	有限会社ウィルビー／株式会社源喜舎／劇団ぜんとようようくらぶ			
	役職	代表取締役／代表取締役／代表			
連絡	住所	(公開)	〒 025-0074		(職場)
		(公開)	岩手県花巻市坂本町3-26 (有)ウィルビー		
	連絡先	(公開)	E-Mail will be [アットマーク] cocoa.ocn.ne.jp		
		(公開)	TEL 0198-22-2071	FAX 0198-22-2012	
連絡方法	電話でお願いします				
略歴	<p>昭和29年、岩手県花巻市生まれ。昭和61年、劇団『ぜんとようようくらぶ』結成。平成6年、総合企画会社『(有)ウィルビー』設立。平成25年、『(株)源喜舎』設立。平成8年、岩手朝日テレビ開局記念全国放送ドラマ「賢治が笑った」総括プロデューサーと脚本を担当。また、同年、皇太子ご夫妻ご臨席の「第8回全国農業青年交換大会」の総合プロデューサーと記念演劇公演の脚本・演出を務める。平成10年、劇団『ぜんとようようくらぶ』が「ふるさとづくり振興奨励賞」受賞。平成17年、「第51回JA全国青年大会」JA全青協創立50周年記念演劇を公演。平成18年、「市民憲章運動推進第41回全国大会」記念演劇公演とパネルディスカッションのコーディネーターを務める。平成20～21年、農林水産省「農山漁村(ふるさと)地域力発掘支援モデル事業」アドバイザー。平成22年～内閣府より地域活性化伝道師に登録。平成23年、農林水産省6次産業化ボランティアプランナー。平成24年～令和2年、西和賀町第三セクターのコンサルタントを務める。令和2年～3年、花巻市東和町第三セクターのコンサルタントを務める。全国各地で直接現場に入り、「産業振興」や「地域活性」、「超高齢社会や中山間地域の課題解決」、「人材育成」、「教育」、「福祉」など幅広いテーマで、年間150回以上の講演・研修を行う。また、劇団『ぜんとようようくらぶ』は、「介護保険」「食農教育」「地方創生」などを題材にした演劇を全国各地で多数上演し、大好評を得た。</p> <p>以上、簡単に略歴を書きましたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大前までは、全国各地で幅広いテーマ(取組概要を参考)で年間150回を超える現場指導・研修・講演・コンサルタントなどを行ってきました。</p>				
著作・論文等	『やるっきゃないさ』～人生を変える「出会い」が見つかる人、見つからない人～(JAグループ社団法人家の光協会)				
取組概要	<p>(有)ウィルビーを設立した30年前から、住民主体の地域づくりの指導・アドバイスを行ってきたが、人口減少と少子高齢化の進行により発生する様々な地域課題が表面化してきた20年程前からは、「人や組織が暮らして繋がり、協働し、様々な地域課題を解決する」という考えをベースに置いた地域づくりを精力的に行ってきた。主な指導内容は、「住民の共通目標となる地域将来ビジョンづくり」「住民が暮らして繋がり、協働できる地域運営組織(RMO)の設立・運営」「超高齢社会が抱える様々な課題の解決」「地域資源を活用した地域活性(産業振興)」「目標達成に貢献できる人材の育成」「川上主導型バリューチェーンの構築とそれを活用した農林業振興」などだが、年間150回を超える(新型コロナウイルス感染症の感染拡大前まで)現場指導・研修・講演・コンサルタントなどによって多くの成果を上げている。特に、15年前から取り組んでいる「中山間地域再生事業」においては、住民主体の地域づくりの成功モデルとして事例発表できる地域も出てきている。</p> <p>また、平成23年に起きた東日本大震災の「被災地支援活動(地域コミュニティ再生・被災者の心の復興)」も延べ700回を超え、現在も継続して行っている。</p> <p>今後は、全国の行政・地域から相談を受けている「超高齢社会が抱える課題の解決(特に介護・生活支援問題)」「農村RMOの設立・運営と中山間地域再生」「地域資源を活用した地域活性(産業振興)」「地域・農林業の担い手の確保・育成」等に関する取組に力を注ぐ予定だが、どの取組も根底に共通の「理想(実現したい未来のありたい姿)」として「誰もが命と尊厳を守りながら、自分らしく暮らしていける、安心と希望あふれる共生型地域コミュニティの構築」を置いている。</p>				
メッセージ	<p>同じ地域で暮らしていても、人はそれぞれ性格も価値観も、抱える課題や利害も異なります。</p> <p>そういう人たちが力を合わせ、誰もが安心して暮らせる、未来に希望が持てる社会をつくるためには、まずはビジョン(未来のありたい姿)が必要です。そして、そのビジョンを実現するためには、その地域で暮らす人々が足元にある資源や人材に気づくことが、そしてそれを活かすための仕組みづくりが必要です。そのビジョンづくり、資源や人材の発掘と活かし方、それを活かすための仕組みづくりなどを、私が現場におじゃましてお手伝いをさせていただきます。</p> <p>地域づくりの主役は、そこで暮らす皆さんです。</p>				
関連ホームページ	https://i-willbe.com/ みなさんの未来のありたい姿を実現するために		活動 エリア	全国	

※ 公開できる情報のみ掲載しています。
 ※ 依頼・相談等に伴う謝礼等条件につきましては、双方協議の上、決定してください。
 ※ メール送信は、[アットマーク]を@に置き換えて行ってください。